

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ブライダル用語辞典			出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

科目の基礎情報②

エリア	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。				
到達目標	3級ブライダルコーディネート技能検定合格				
評価基準	テスト：60％ 小テスト：20％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	3級ブライダルコーディネート技能検定				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング ドレスデザイン・ブライダルプランナー検定・ブライダルセールス				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 裕子			実務経験	○
実務内容	ブライダル企業にて10年間ウェディングプランナーとして勤務。フリーランスにてウェディングプランナーとなり活動中。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ブライダルコーディネート技能検定について理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史①
5	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史② 宗教と結婚式
6	日本の結婚式 歴史と文化	結婚に関する風習・いわれ

7	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
8	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
9	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移
10	ブライダル業種 ブライダル関連業種	ブライダル関連業種について理解する
11	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品
12	結納・婚約式	結納①
13	結納・婚約式	結納② 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせ
14	テスト	前期内容のテスト実施
15	総合	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ブライダル用語辞典			出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

科目の基礎情報②

エリア	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。				
到達目標	3級ブライダルコーディネータ技能検定合格				
評価基準	テスト：60％ 小テスト：30％ 授業態度：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	3級ブライダルコーディネータ技能検定				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング ドレスデザイン・ブライダルプランナー検定・ブライダルセールス				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 裕子			実務経験	○
実務内容	ブライダル企業にて10年間ウェディングプランナーとして勤務。フリーランスにてウェディングプランナーとなり活動中。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エリア特性	結婚における地域特有の風習
2	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）
3	神前式	神前式の歴史と現状 神前式式次第①
4	神前式	神前式式次第②
5	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第 キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについて的小テスト
6	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第

7	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯
8	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
9	海外ウェディング・二次会	海外ウェディング、新婚旅行 二次会会場、1.5次会
10	コーディネーター業務	セールスと施工 担当制と分担制
11	新規業務	カップルの動き、集客方法について知る
12	ブライダルセールスの特徴 ホスピタリティ営業	ブライダル商品の特徴を知る
13	プランニング プレゼンテーション 新規アフターフォロー	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する
14	後期テスト	後期内容のテスト実施
15	総合授業	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる				
評価基準	小テスト／レポート：20％ 授業態度：40％ 提出物：40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どのような状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断行動していくことの大切さを考える
5	言霊～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	【SDGs】とは？	国際目標であるSDGsとは何か？ またそのゴールは何かを学び、自分できることを考える

9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
12	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
13	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	成功するための原則	前期の総括とともに、あきらめないことの大切さを考えセルフモチベーションを高めていく

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる				
評価基準	小テスト／レポート：20％ 授業態度：40％ 提出物：40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	圃田 靖子			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを考える
2	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
3	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
4	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
5	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
6	過去の自分とこれからの人生	具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定を考える
7	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
8	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し将来の夢を実現するモチベーションを高めていく

9	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
10	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
11	X Y ゲーム	ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常に応用することは難しいということを学ぶ
12	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
13	後期の総括	後期の総括と2年生に向けてモチベーションを高めていく
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	サービス接遇検定受験ガイド 3 級 サービス接遇検定実問題集 3 級			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。				
到達目標	サービス接遇検定 3 級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。				
評価基準	小テスト 3 0 % ・ 提出物 1 0 % ・ 授業態度 2 0 % ・ 検定合格 4 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	サービス接遇検定 3 級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡田 愛子			実務経験	○
実務内容	NPO教育マナー協会認定講師。日本カラリスト協会認定講師。市の講座・公立中学校職場体験・国際フォーラムにてマナー指導者として活動。フラワーデザイナーとしても活動。講師歴 15年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・ ビジネスマナーとは ・ 敬語① ・ 敬語②	・ 接客業におけるビジネスマナーの重要性を知る ・ 敬語 3 種類の理解を学び、二重敬語など今後の話し方も考える ・ 検定対策の為、話す・書くの両方ができるように理解する
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	・ 専門知識 ・ 一般知識	・ サービスの種類や機能について学ぶ ・ 一般知識・ことわざ・慣用語・物の数え方など学ぶ
4	人間関係	職場・来客などのコミュニケーションを良くする方法を学ぶ 一般的なマナーの復習とともに、お客様から信頼される態度や言葉遣いを学ぶ
5	・ 問題処理 ・ 環境整備・金品管理 ・ 慶事・弔事のマナー	・ 苦情や問い合わせについての対応方法を学ぶ ・ 環境整備はお客様の為に大切な事を理解する ・ 金品管理や金銭授受の言葉と動作、領収書について学ぶ ・ 祝儀袋の上書き用語・現金の包み方・袱紗などのマナーを学ぶ
6	検定対策①	過去問題より検定対策
7	検定対策②	過去問題より検定対策

8	検定対策③	過去問題より検定対策
9	社交文書①	・縦書き・横書きのレイアウトを学ぶ ・文書の種類、構成や頭後と結語、時候の挨拶などを学ぶ
10	社交文書②	・郵便の基礎知識を学び、宛名の書き方、返信はがきのマナーを学ぶ
11	電話対応	電話の掛け方・受け方・伝言メモなどを学び、ロールプレイングを行う
12	名刺交換・お茶出し	名刺の受け渡し方法・お茶の出し方を学び、ロールプレイングを行う
13	面接練習	面接試験の種類とチェックポイントを学び、ロールプレイングを行う
14	受付～誘導までご案内	受付～誘導までをロールプレイングで実践し学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック			出版社	クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する。 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト 40%・提出物 30%・授業態度 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡田愛子			実務経験	○
実務内容	NPO教育マナー協会認定講師。日本カラリスト協会認定講師。市の講座・公立中学校職場体験・国際フォーラムにてマナー指導者として活動。フラワーデザイナーをとしても活動。講師歴 15年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る
2	色の性質①	・色の持つ性質や特徴を理解する ・有彩色と無彩色を理解する ・色の三属性を理解する
3	色のトーン① 色の心理的効果	・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ ・色の心理的効果を理解する
4	配色①	・配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・色相環・トーンを理解した上で配色を考える
5	配色②	・イメージ配色の重要性を理解する ・和装の配色方法を学ぶ
6	光の三要素 眼のしくみ	・色がなぜ見えるのかを学ぶ ・三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
7	対比・補色対比 混色	・対比・補色対比について学ぶ ・加法混色と減法混色を学ぶ
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する

9	色のトーン③	・メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	シーズンカラー	各シーズンの特徴を学び、ファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠーⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠーⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 30%・提出物 20%・面接 20%・履歴書 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	野中 菜美 安本 尚子			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	2年間の就職活動の流れを把握する
2	ブライダル関連企業を調べる①	ブライダル企業について調べ把握する
3	ブライダル関連企業を調べる②	ブライダル企業について調べ把握する
4	就職活動サイト登録	リクナビ・マイナビに登録をする
5	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する
6	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する
7	就職先について	就職先業種や種類について理解する
8	求人票の見方	求人票の見方を学ぶ

9	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
10	自己分析②自己PR	自己PRの書き方を学び、作成する
11	履歴書について①	履歴書の各項目ごとの注意点を学ぶ
12	履歴書について②	履歴書を作成する
13	面接練習①	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
14	面接練習②	面接練習を行う
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠ-Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠ-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 30%・提出物 20%・面接 20%・履歴書 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	野中 菜美 安本 尚子			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	進路希望調査	・今後の就職活動の流れを把握 ・進路アンケートの実施
2	就職情報サイトについて	就職情報サイトの登録と活用方法を学ぶ
3	就職活動のルールについて	・各種届、証明書発行について把握 ・求人票の見方について学ぶ
4	自己分析①	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、自分史を作成する
5	自己分析②	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、社会人基礎力を把握する
6	自己分析③	自己PRを作成する
7	業界研究	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、業界研究を行う
8	企業研究①	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、企業研究を行う

9	企業研究②	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、企業への質問をまとめる
10	エントリーシートの書き方	自己分析、企業研究をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
11	履歴書指導①	自己分析・企業研究をふまえて履歴書を作成する
12	履歴書指導②	自己分析・企業研究をふまえて履歴書を作成する
13	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
14	面接指導②	集団での面接練習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ゼクシィ・ブライダルコーディネートテキストスタンダード			出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する				
到達目標	ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことが出来る				
評価基準	プレゼンテーション50% テスト40% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠB（ブライダルコンペティション）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	Ayame			実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティングの必要性 ブライダルビジネスについて	マーケティングがなぜ必要なのか？ ブライダル市場は具体的にどういった内容を指すのか これまでのブライダル市場の推移について
2	ターゲットの選定	コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る
3	商品の決定	ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える
4	集客システムについて	ブライダル業界の集客システムはどのようなになっているのか？
5	商品の告知方法	商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る コンペティションの商品の告知方法を考える
6	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
7	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める

8	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
9	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
10	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
11	企業コラボ①	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
12	企業コラボ②	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
13	企業コラボ③	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
14	テスト	前期のテストを行う
15	総まとめ	前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling			出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	後期に受験する、全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アテンド実践A、ドレスデザインB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高津 笹乃			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして6年間勤務。 店長として店舗運営も経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ
5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ

7	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリー、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
8	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
10	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
11	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
12	ヘアースタイルによる スタイリング効果・小テスト	ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ
13	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
14	前期テスト 列席者の衣装・男性の洋装	前期筆記テスト 列席者の衣装についてについて学ぶ
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling			出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	ドレスデザインA、ブライダルプランナー検定Ⅰ（WP科ハウスウェディングコース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高津 笹乃			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして6年間勤務。 店長として店舗運営も経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
2	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ
3	男性の洋装のフィッティング	タキシードフィッティング実習
4	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
5	和装衣装	新婦和装衣装について説明する

6	和装衣装	新婦和装衣装について説明する
7	和装衣装 列席者衣裳	新郎和装、列席者の衣装について説明する
8	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
10	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
11	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
12	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
13	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
14	後期テスト	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターンシップ対策		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ対策		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	①「あなたから買いたい」と言わせる営業心理学 ②できる人のビジネスマナー ③サービスの教科書			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	インターンシップを行なう上での基礎知識を身に付ける				
到達目標	・インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている ・インターンシップを始めるための準備が整っている ・現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身に付いている				
評価基準	提出物30%、授業態度40%、レポート30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	安本 尚子			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式の理解を深める	結婚式の仕事内容や種類を知る
2	インターンシップ概要説明①	規定と実施方法
3	インターンシップ概要説明②	ルール、心構え、身だしなみ
4	企業リサーチの仕方	ブライダル企業を調べてみる
5	企業説明会動画①	企業の説明会動画を見て企業の事を知る
6	企業説明会動画②	企業の説明会動画を見て企業の事を知る
7	身だしなみ	髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践
8	履歴書の書き方	簡易的な履歴書が書けるようになる
9	電話やメールの仕方	企業様と失礼のないやりとりができるようになる

10	面接練習①	対面面接のポイントを知る
11	面接練習②	オンライン面接のポイントを知る
12	接客対応について①	ビジネスマナーや接客についての理解を深める サービスの座学や実践を行なう
13	接客対応について②	ビジネスマナーや接客についての理解を深める サービスの座学や実践を行なう
14	接客対応について③	ビジネスマナーや接客についての理解を深める サービスの座学や実践を行なう
15	総合学習	総まとめを行なう

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する		
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する		
評価基準	テスト(小テスト含む) 5 0 % 実技 3 0 % 授業態度 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	ブライダル知識Ⅰ A ・ドレスデザイン A ・ブライダルプロジェクトⅠ A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	Ayame	実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式・アテンドについて	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）
5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ

6	アテンド（介添）について （実践）	ドレスの着せ方、新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド（実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド（実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門			出版社	講談社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルの作製が出来る。				
評価基準	テスト 30 % ・ 授業態度 30 % ・ 提出物 20 % ・ 検定合格 20 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	島添 久美子			実務経験	○
実務内容	18年間、ホテル、レストラン、式場、プライベートパーティーなどのフラワー全般業務担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・ フラワーデザインについて ・ リボン作成	・ フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ ・ リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル① (ドーム型)	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
6	ゲストテーブル② (水平型)	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う
7	メインテーブル	水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する

9	カスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、カスケードブーケを作成する
10	テスト	テスト
11	トライアングュラー	三角形の作り方を学び、トライアングュラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリ	ウェディングにおいてのフローラルアクセサリの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。		
到達目標	挙式の一連の流れを理解する。 各役割の連携とり、模擬挙式を作ることができる。		
評価基準	授業態度40％・制作物40％・振り返り20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	安本 尚子	実務経験	○
実務内容	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務、挙式・披露宴のプランニングとして従事する。その後、ゲストハウスでも活動経験有。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	模擬挙式概要説明 当日までのスケジュール、各セッションについて理解する。
2	目標・テーマ・各セッション決定	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セッション決定
3	スケジュール・予算立て デッサンシート作成	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セッション制作①	各セッションごとに準備を進める
5	各セッション制作②	
6	各セッション制作③	
7	各セッション制作④	

8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサル①（各セッション、動きの確認）
10	挙式リハーサル②	挙式リハーサル②（挙式通しリハーサル）
11	挙式リハーサル③	挙式リハーサル③（挙式通しリハーサル・タイム取り）
12	全体リハーサル①	全体リハーサル①（受付～誘導～挙式～お見送り）
13	全体リハーサル②	全体リハーサル②（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り）
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける		
到達目標	・ブライダル業界の課題に対する改善策を考えられる ・改善策のイメージをプレゼンテーション出来る		
評価基準	校内選考企業評価５０％・グループレポート３０％・授業態度２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	マーケティング		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	安本 尚子	実務経験	○
実務内容	ホテルにてウェディングプランナーとして勤務、挙式・披露宴のプランニングとして従事する。その後、ゲストハウスでも活動経験有。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて 企業様によるブライダル業界についての講話
2	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて 全国コンペティションの映像鑑賞
3	チーム分け	チーム分け発表・チームごとに内容検討
4	内容検討	チームごとに内容検討 グループレポートの記入
5	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション準備
6	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション準備
7	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション準備

8	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション準備
9	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション準備
10	リハーサル	プレゼンテーションリハーサル
11	リハーサル	プレゼンテーションリハーサル
12	リハーサル	プレゼンテーションリハーサル
13	本番	プレゼンテーション本番 (授業外での開催の可能性もあり)
14	振り返り	コンペティション振り返り
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールスA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールスA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。		
到達目標	新規接客及び顧客に向けた営業（付帯セールス）において、お客様の満足度を得られる接客スキルを身につける。第一印象が重要な業界を目指すためのと立ち居振る舞い・姿勢・表情を意識する意味・身だしなみを整える大切さを理解し、インターンシップや日頃の学校生活で実践させる。就職活動等、今後のブライダルプロジェクトに活かせる、話し方、聴き方、カウンセリングで効果的な質問、受け答えが出来るようにする。		
評価基準	テスト：50％　ロールプレイング：40％　授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	ブライダルセールスB・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	Ayame	実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	・教員自己紹介・授業ルールについて ・皆が考えるセールのゴールを考え様々な意見を吸収する
2	ウェディングビジネスマインド	結婚式を創る仕事をするプランナーの心構えについて 人が喜ぶ究極のおもてなしとは？
3	身だしなみ	・自己表現（オシャレ）と自己演出（身だしなみ）の違い ・プランナーとして、スタッフとして、どう見られているのかという意識を持ち
4	笑顔	笑顔と見られるポイントと使い分けを身につける
5	立ち居振る舞い	①立ち方 ②歩き方 ③手の組み方 ④座り方 ⑤物の渡し方 ⑥物の指し方 高額商品を売る側として、美しい立ち居振る舞いを身につける

6	求められる5つの基本能力 アイスブレイクについて①	・プレゼンテーション力とは・ヒアリング力、コーディネート力、営業力、問題解決力とは自分自身に足りない 力を見つけ、伸ばすためにはどうしたらよいかを知る。 ・アイスブレイクとは
7	新規接客のご挨拶 アイスブレイク②ロールプレイング①	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、 新規接客のご挨拶のロールプレイング。
8	新規接客のご挨拶 アイスブレイク③ロールプレイング②	
9	タイプ別の対応を理解する 発想の転換	お客様には心地よいと思う話し方がそれぞれ異なり、相手（お客様）が自分に合っていないではなく、自分が相手に合 わせて接客することが大切だと学ぶ。 発想の転換でポジティブに変換する。
10	お客様の印象が変わる話し方	①話すスピード ②声の大きさ ③話すクセ ④視線 ⑤身振り・手振り ⑥表情 お客様が心地よいと感じる話し方を身に付ける。
11	お客様の印象が変わる 聴き方	①二人（新郎新婦）の対応 ②あいづち ③繰り返し ④間の取り方 お客様は話しやすいと感じる聴き方を身につける。（ペアワーク実施）
12	お客様の印象が変わる 話し方・聴き方を	お客様の印象が変わる話し方、聴き方を実践する。
13	身につける為のロールプレイング	
14	テスト	筆記テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールスB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる		
到達目標	お客様の満足度を得られる接客スキル、基礎基本を身につける。 新規接客前の集客の仕組み、ブライダルフェアでの予約の電話対応、お問い合わせに対する応対ができるようになる。 新規接客の基本的な流れを理解する。（本格的な資料の使い方や手法を取り入れた授業は2年次）		
評価基準	テスト：50％　ロールプレイング：40％　授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	ブライダルセールスA・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	Ayame	実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新規接客来館までの流れ	実際に自分がお客様の立場になった時にどのような応対をされると良いか考えることで、来館前の応対がいかに重要かを知る。
2	ブライダルフェア・相談会について	企業のHP、ゼクシィ等を使い、ブライダルフェアの目的、内容について
3	資料請求・HP・WEB・SNS・問い合わせ	集客方法とそれぞれの手法の対応方法について
4		問合せに対する返信文やSNSの発信について等、お客様視点で考える力を身につける。
5	電話応対（知識＋実践）	電話の受け方、取次ぎ、電話をかける、表情、準備物等を学ぶ

6	ブライダルフェアの予約	電話でブライダルフェアの予約を受ける際の注意点を学ぶ
7		
8	メモの取り方	簡潔に分かりやすく伝える知識を身につける。 電話をしながら、メモをとる実践
9		
10	新規接客の目的・ゴール	ブライダルフェアや相談会でプランナーが行う新規接客のゴールを理解する
11	クロージング	クロージングの目的、ゴールについて
12	新規接客の流れと資料	お出迎え～クロージングまでの順番、時間配分・目的・ポイント・資料を理解する。
13		
14	テスト	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーティプロデュース		
必修選択	選択	(学則表記)	パーティプロデュース		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ゼクシィ・ブライダルコーディネートテキストスタンダード			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングが出来るように基礎的な結婚式の流れや用語を身につける				
到達目標	新郎新婦の要望に基づいたテーマプランニングができるようになる。				
評価基準	テスト50% プレゼンテーション40% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	オリジナルプランニング・ホテルプランニング・ブライダル知識ⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	Ayame			実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 挙式スタイルの基礎知識	授業の目的・授業のルールの確認 挙式の種類と特徴について
2	挙式の流れと演出①	人前式について 人前式の演出について
3	挙式の流れと演出②	キリスト教式、神前式、仏前式について知る
4	テーマウェディングとは	テーマウェディングについて
5	挙式プロデュース①	テーマウェディングの挙式プロデュース
6	挙式プロデュース②	テーマウェディングの挙式プロデュース
7	挙式プロデュース③	テーマウェディングの挙式プロデュースの発表

8	披露宴の基礎知識	披露宴について
9	披露宴の流れと演出①	披露宴の進行について
10	披露宴の流れと演出②	披露宴の演出、当日のスケジュールについて
11	披露宴プロデュース①	テーマウェディングの披露宴プロデュース
12	披露宴プロデュース②	テーマウェディングの披露宴プロデュース
13	披露宴プロデュース③	テーマウェディングの披露宴プロデュースの発表
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイクアップテキスト（ベーシック） メイク道具一式			出版社	三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイクの基本が抑えられている 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト30%、実技テスト30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本美 さちこ			実務経験	○
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 今後学ぶ内容について 教材のチェック	オリエンテーション 教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ
2	『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ	『骨格と表情筋』・・・顔の名称を覚える 手指消毒〜リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて学ぶ	スキンケアの種類、方法などを学ぶ 実際に相モデルで行う
4	クレンジング 実技テスト 筆記小テスト	クレンジング基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施
5	ファンデーションについて学ぶ	今まで学んだ箇の復習 ファンデーションについて説明&デモ&実践
6	アイメイクについて学ぶ①	ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック） （半顔ずつ横グラデーション・縦グラデーション）
7	アイメイクについて学ぶ②	アイメイク相モデルでタイムトライアル
8	アイブロウについて学ぶ①	基本の眉のプロポーションについて学ぶ・セルフ実技 使う道具など
9	アイブロウについて学ぶ②	アイブロウ相モデルで実践 左右対称に行い。形の違いを理解する

10	チーク・リップ ハイ＆ローライトについて学ぶ	骨格を意識したメイクを学ぶ (3パターン行う)
11	フルメイクの練習①	【テストに向けて】 タイムトライアル（45分） ・時間内にメイクができるようになる。 ・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど） 反復練習を行い技術力を上げる。
12	フルメイクの練習①	
13	フルメイクの練習②	
14	実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実技テスト 前期に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイクアップテキスト（ベーシック） メイク道具一式		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイクの基本が抑えられている 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト30%、実技テスト30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本美 さちこ			実務経験	○
実務内容	美容室に勤務しブライダルヘアメイクを中心にヘアメイクアップアーティストとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイク検定ベーシックについて ソフト理論を学ぶ	オリエンテーション 検定について、プロポーションについて レクチャー・相モデルでポイントメイク
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
3	シャープ理論を学ぶ・小テスト	レクチャー・相モデルでポイントメイク 筆記に向けて小テスト
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
5	ソフトORシャープの練習①	検定に向けて実践練習 タイムトライアル制限時間内にメイクをする
6	ソフトORシャープの練習②	
7	実技・テスト(実技筆記対策)	検定と同様に実技テスト (スキンケア～フルメイク、筆記試験) 苦手克服（苦手な部分を集中して練習）
8	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
9	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランス イメージを理解する（SWEET/ROMANTIC）

10	メイクの種類を学ぶ③ シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (FEMININE/LUXURY) シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク
11	メイクの種類を学ぶ④ シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (POP/NATURAL) シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
12	メイクの種類を学ぶ⑤ ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (COOL/CRASICAL) シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
13	メイクの種類を学ぶ⑥ ケース別メイク	メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるコラージュのやり方 ブライダルシーンに合わせたメイク
14	モデルの顔分析 似合わせ	モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式 ケア・カラー・アート用具一式、カラーポリッシュ、チップ等			出版社	日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし検定試験合格取得だけでなく、その先の応用技術ができるよう技術の幅を広げる				
到達目標	3級試験全員合格を目指す				
評価基準	前期…筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む) 20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNEC ネイリスト技能検定 (強制:3級 任意:2級) NPO法人日本ネイリスト教会 JNA ジェルネイル技能検定試験 (強制:初級 任意:中級)				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大宮 佳奈子			実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション テーブルセッティングについて	オリエンテーション (前期の流れとゴール設定、検定について) 教材チェック、テーブルセッティングのやり方について学ぶ (P70～72)
2	座学 ネイルの歴史、技術体系 実技 ファイリングカットスタイル	ネイルの歴史 (P8～13)、技術体系 (P14～15) を学ぶ ～実技～ ファイリング、5種類のカットスタイル (P76、85～91)、バッフィング
3	座学 爪の構造と働き、皮膚科学 実技 クリーナップ	爪の構造と働き (P16～19)、皮膚科学 (P20～22) を学ぶ ～実技～ ネイルケアのステップ、手指消毒、ファイリング～クリーナップ (P73～74、77～81)
4	座学 爪の病気とトラブル 実技 クリーナップ	爪の病気とトラブル (P30～36) を学ぶ ～実技～ クリーナップ
5	座学 消毒法 実技 クリーナップ	消毒法 (P38～45) を学ぶ ～実技～ クリーナップ
6	座学 生理解剖学、トリートメント 実技 カラーリング	生理解剖学 (P23～29) トリートメント理論 (P46) を学ぶ ～実技～ カラーリング、ポリッシュオフ (P75、82～84)

7	座学 化粧品学、色彩理論 実技 アート	化粧品学 (P47～51)、色彩理論 (P52～56) を学ぶ ～実技～ アート (P118～134)
8	座学 プロフェッショナリズム 衛生基準 実技 3級検定対策	プロフェッショナリズム (P57～58)、ネイルカウンセリング (P59～61) ネイルサロン環境 (P62～63)、衛生基準と関連法規 (P64～65) ～実技～ 3級検定対策
9	実技 3級検定対策	～実技テスト～ 検定内容で検定対策を行いつつ実技テストを行う ～筆記テスト～ ネイル検定の3級に合わせた内容で筆記テスト行う ～3級検定対策～ 何度も反復練習することで、施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る
10	実技 3級検定対策	
11	筆記テスト 実技 3級検定対策	
12	実技テスト	
13	実技テスト (予備日)	
14	3級検定説明	3級の検定試験について、要項、DVDなどを使用して学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式 ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(初級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ等		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎技術の知識と技術をマスターし検定試験合格取得だけでなく、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げる		
到達目標	3級試験全員合格を目指す		
評価基準	後期…検定結果30% 実技テスト30% 検定結果(3級)20% 授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定（強制:3級 任意:2級） NPO法人日本ネイリスト教会 JNAジェルネイル技能検定試験（強制:初級 任意:中級）		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	大宮 佳奈子	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして勤務。本部認定講師の資格も取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 実技 3級検定対策	オリエンテーション (後期の流れやゴールを確認) ～実技～ 3級検定に向けタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
2	実技 3級検定対策	～実技～ 3級検定に向けタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
3		～筆記対策～ 過去問や小テストを使用しながら、筆記試験の対策を行う
4	座学 ジェルネイル基礎理論 実技クリア、1カラー、オフ	ジェル検定初級(時期、内容)について ジェルネイル基礎理論 (テクニカルシステム ジェル P16～42) ブリバレーション、クリア、1カラー、オフ (テクニカルシステム ジェル P56～60 82～83)
5	実技 ビーコック	～実技～ ビーコック (テクニカルシステム ジェル P96～99) 1カラー～ビーコック
6	ジェル検定初級説明 実技 ジェル検定初級対策	ジェル検定初級について要項やDVDを使用して学ぶ ～実技～ 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る

7	実技 ジェル検定初級	～実技～ 初級に向けてタイムトライアル
8	実技 ジェル検定初級	何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
9	筆記テスト 実技 ジェル検定初級	ジェル検定初級の筆記内容で筆記テストを行う。 ～実技～ 初級に向けてタイムトライアル 何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る
10	実技テスト	ジェル検定初級の実技内容で実技テストを行う。
11	実技テスト（予備日）	※ジェル検定初級の実技チェックを兼ねる
12	実技 2級検定対策	～実技～ チップ&ラップ実技 （ベーシック P107～116）
13		～実技～ 2級検定対策 チップラップ～カラーリング
14		2級検定の後半試験内容を流れで学び、効率よく進められるようにする カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word & Excel 2019			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得		
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる		
評価基準	検定 60％、課題提出 20％、授業態度・参加の積極性 20％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	パソコン技能検定 3 級（後期パソコン演習Bにて実施）		
関連科目	パソコン演習B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中山れい	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC基礎知識、タッチタイピング
2	Word入門①	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体についてについて
6	Word応用①	表の作成・編集について
7	Word応用②	表の作成・編集について練習

8	文書作成	表入りビジネス文書作成練習
9	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題
10	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題
11	前期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word文書作成)
12	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について
13	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算について
14	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更について
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word & Excel 2019 【後期】①powerpointクイックマスター 2019 ②はじめてのPowerPoint 2019			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 ①ウィネット ②秀和システム

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得		
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる		
評価基準	検定 6 0 %、課題提出 2 0 %、授業態度・参加の積極性 2 0 %		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	パソコン技能検定 3 級		
関連科目	パソコン演習A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	中山れい	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期パソコン演習A復習	前期パソコン演習Aの総まとめ 確認テスト問題解説
2	Word復習	表入りビジネス文書作成と解説
3	Excel復習①	表計算問題実施と解説
4	Excel復習②	表計算問題実施と解説
5	Word・Excel復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施 解説
6	後期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
7	問題解説	確認テスト問題解説
8	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)

9	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
10	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPTの基本操作
11	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成①
12	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成②
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルコーディネーター科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する		
到達目標	・ 欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ ブライダルプランナー検定2級を取得する		
評価基準	検定結果：60％　小テスト：30％　授業態度：10％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルプランナー検定2級		
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	野中　菜美	実務経験	○
実務内容	ホテル3社にてウェディングプランナーとして11年勤務。 その後、ドレスショップ勤務。ドレスコーディネーターとしてドレス知識も取得。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション American Weddings 第6章 アメリカンウェディングとは	①自己紹介 ②授業の目的、使用教科書、検定概要、成績評価、授業のルール ■アメリカンウェディング全体を理解する
2	American Weddings 第1章 アメリカンウェディングとは	■アメリカンウェディング全体を理解する ■第1章の過去問を解く
3	American Weddings 第2章 アメリカンウェディング ～準備編1～	■ブライダルショー・ブライダルパーティ・婚約ギフト・ペーパーアイテム・フォト・ビデオ・服装について理解する ■第2章の過去問題を解く
4	American Weddings 第3章 アメリカンウェディング ～準備編2～	■それぞれのギフトや演出・挙式、レセプション会場等について理解する ■リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ■各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する
5	American Weddings 第4章 アメリカンウェディング ～本番1～②～	■リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ■各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する ■第4章の過去問題を解く
6	American Weddings 第5章 アメリカンウェディング ～本番2～	■レセプションについて ■アメリカンウェディングの総まとめ ■第5章の過去問題を解く

7	Japanese Weddings 第1章 第2章2-12まで 日本のブライダル市場	特に1990年代の動向 ■第1章の過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第2章 ウェディングの決定	■結納・結婚式 ■第2章の過去問題を解く
9	Japanese Weddings 第3章 婚礼施設の主業務	■第3章の過去問題を解く
10	Japanese Weddings 第4～5章 関連商品・サービス／衣装・主要各業務	■第4章、第5章の過去問題を解く
11	検定対策（総まとめ）①	■過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
12	検定対策（総まとめ）②	■過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
13	検定問題解答・解説	■検定試験の解答・解説を行い、自己採点を行う
14	American Weddings 第7章 宗教ウェディング	■宗教ウェディングの基礎知識とプロテスタントの挙式、カトリック・ユダヤ教の挙式、非宗教挙式について学ぶ ■第7章の過去問題を解く
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	ゼクシィ			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	テーブルコーディネートの必要性を理解する。 イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる。				
評価基準	テスト 4 0 % ・ 授業態度 3 0 % ・ 提出物 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	Ayame			実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	空間演出	結婚式における空間演出の重要性を学ぶ
2	空間演出の役割	照明・テーブル・椅子・装飾などの演出におけるイメージの違いを学ぶ
3	テーブルプラン	テーブルの様々な種類のイメージを学び、テーブルプランを考える
4	機材	空間演出において機材の必要性と種類を学ぶ
5	テーブルクロス	テーブルクロスの効果を学ぶとともに、たたみ方・裏表・山谷について学ぶ
6	センターピース	センターピースの役割を学び、色のもつイメージを学ぶ
7	色のトーン	同じ色でもトーンが違うことでイメージや相性のいい色がある事を学ぶ

8	小テスト 感性分類	感性分類という色のすみ分けについて学ぶ
9	感性分類	感性分類マップ別によって感じる印象の違い、イメージを学ぶ
10	イメージ別コーディネート①	エレガントに分類されるコーディネートを学ぶ
11	コラージュ①	エレガントに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
12	イメージ別コーディネート②	ロマンティックに分類されるコーディネートを学ぶ
13	コラージュ②	ロマンティックに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
14	テスト	前期末テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アテンド実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	無し			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でも出来るようになっている。				
評価基準	テスト（筆記/実技）：50％ ロール・プレイング、シミュレーション：30％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践A・ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	Ayame			実務経験	○
実務内容	5年間の衣装スタイリストを経て、5年間ゲストハウスにてプランナー業。現在もフリープランナーとして世界中でプロデュースしながら、全国で講演・セミナーも実施。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介 前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クロークスタッフのアテンド	コンシェルジュ（クローク）の業務内容を理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する
6	披露宴入場説明 お色直し入場説明	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導しアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	先導について	
8	ケーキ入刀、手紙・花束贈呈	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ

9	アテンドについて	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	筆記テスト	
12	実技テスト	
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影基礎演習		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影基礎演習		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	WEDDING PHOTO			出版社	一般社団法人 日本ウェディングスタイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングフォト（婚礼写真）の知識、撮影基礎技術を学び、ウェディングフォトの提案および撮影テクニックを身につける。				
到達目標	ウェディングフォトの商品説明ができる。 ウェディングフォト商品別に手順を理解した上で、手配業務ができる。 スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。 一眼レフカメラを使用し、ウェディングフォトのロケーション撮影ができる。				
評価基準	試験（検定）・実習：60％ 課題提出：20％ 授業態度・出席率：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JWSA認定ウェディングフォトスタイリスト検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、ウェディングフォト（婚礼写真）について（DVD）
	通過儀礼における写真	日本の通過儀礼における写真撮影について
2	ウェディングフォトの接客	ウェディングフォト業務の接客について
	ウェディングフォトの業務	ウェディングフォトの業務の流れと必要なスキルについて
3	カメラの基礎知識	写真を撮るための基礎用語と知識について
	スマートフォン撮影①	スマートフォンのカメラ機能を理解し、撮影実践
4	スマートフォン撮影②	スマートフォンのカメラ機能を使用して、課題撮影およびアプリを使用した編集を実践
	SNSとは	ソーシャルネットワークサービスの効果と注意点について

5	ウェディングフォトの種類と知識①	「集合写真」「記念写真」「スナップ写真」の利点、手順、費用について
	ウェディングフォトの種類と知識②	「前撮り」「ロケーションフォト」「エンゲージメントフォト」「フォトウェディング」の利点、手順、費用について
6	スタジオ写真①	スタジオ写真の技術について（フォトスタジオ見学含む）
	スタジオ写真②	「親族写真の並べ方」「新婦和装の振付け」について
7	スナップ写真①	挙式の式次第と撮影ポイントについて
	スナップ写真②	スナップ写真の撮影シーンについて
8	スナップ写真撮影実践①	人前式の挙式を設定し、撮影準備をする
	スナップ写真撮影実践②	人前式のスナップ写真撮影を実践する 「フォトコンテスト」に向けた撮影の実践
9	ロケーションフォト①	ロケーションフォトの手順、撮影シーンについて
	ロケーションフォト②	「海外フォトウェディング」「ロケーションフォトの撮影テクニック」について
10	ロケーション撮影実践①	テーマを設定し、モデル、ロケーションの検討、撮影準備をする
	ロケーション撮影実践②	ロケーション撮影を実践する
11	プレゼンテーション	撮影したロケーションフォトのプレゼンテーション
	ウェディングフォトの編集	ウェディングフォトの編集、加工テクニックについて
12	ウェディングフォトの製本	ウェディングフォトの製本方法、手配業務について
	ウェディングフォト撮影実践①	フォトスタジオなどの実際の現場見学を通して、撮影実践に向けた準備や企画を想像する
13	ウェディングフォト撮影実践②	ウェディングフォト「ロケーション撮影」「会場撮影」を企画する
	ウェディングフォト撮影実践③	ロケーション撮影及び会場撮影の準備・実践をする
14	ウェディングフォト撮影実践④	ロケーション撮影及び会場撮影の実践・編集・プレゼン準備をする
	プレゼンテーション	撮影したウェディングフォトのプレゼンテーションの実践
15	試験	検定試験の実施（科目試験含む）
	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスフィッティング		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスフィッティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling			出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスデザインA・Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身に付ける				
到達目標	ドレスショップでの接客、衣装の補正方法を理解しフィッティング時の基本的な対応が出来る また、時間内での接客対応、コーディネート提案が出来る				
評価基準	テスト50%・実技30%・授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザインA、ドレスデザインB、ソーイング&メンテナンスI				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高津 笹乃			実務経験	○
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして6年間勤務。 店長として店舗運営も経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・ドレス室マナー	ドレス室の使用方法、衣装(ドレス・タキシード)扱い方・パニエ・ベールのたたみ方・ハンガーの種類等の説明
2	ブライダルインナーについて	ブライダルインナーの必要性を知る、種類と対応方法
3	ドレスの採寸実習	採寸実習
4	新婦の洋装フィッティング	新婦の洋装(ドレス)補正技術
5	新郎の洋装フィッティング	新郎の洋装(タキシード)補正技術
6	新婦の洋装フィッティング	ドレス選択からフィッティング実習・補正

7	カウンセリング基本	カウンセリングシートを用いて基本的な聞き取り方法 ペアでカウンセリングのみロールプレイング
8	カウンセリング基本	カウンセリングシートを用いて基本的な聞き取り方法 ペアを変えて、ロールプレイング②
9	プレゼン基本	プレゼンテーションのポイント・カウンセリングした内容からドレスを1着選び、どのように提案していくかプレゼン内容をノートにまとめさせる
10	新婦の洋装フィッティング	先週まとめたものをフィッティングしながら実践
11	新婦の洋装フィッティング	全員の前でフィッティング+プレゼンの実践（1人7分程度、時間配分は人数による）
12	新婦の洋装フィッティング	全員の前でフィッティング+プレゼンの実践（1人7分程度、時間配分は人数による）
13	私服コーディネート	私服で採用試験に臨むケースが増えてきている為、各自私服のコーディネートと その内容をプレゼンする
14	後期試験	補正の実技試験
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクテキスト(ベーシック/ブライダルメイク)			出版社	三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルメイクの基礎としてベースメイクの質感や、ドレスやモデルに合わせての似合うメイク(色・形・バランス)を感覚的に身に着け技術力に繋げる				
到達目標	ブライダルの現場で求められるメイクテクニックの応用に対応できるように考える力やセンスを身につける				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	甲斐切 直美			実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクサロンを20年経営し、現在もブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション プロポーション・パーツ フェイススタイル	オリエンテーション□顔分析の基本を学ぶ ・プロポーション ・顔のパーツから与える印象を知りどう補うことで補正されるかを考える・メイクでの調整方法
2	FACE STYLEに合わせた 錯覚メイクや色の錯覚 つけまつげの付け方	□メイクの色遣いや形、明度、質感などの変化を学ぶ
3	FACE STYLE① (キュート)	□メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
4	FACE STYLE② (エレガント)	□メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
5	FACE STYLE③ フレッシュ)	□メイクパターンよりモデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
6	FACE STYLE④ (クール)	□メイクパターンより、モデルの顔の素顔分析を行い、「顔の長さ」「パーツの位置」「パーツのかたち」を変える事でイメージに合わせたメイクをする
7	モデル・似合わせメイク① モデルの顔の特徴と同じメイクパターン	□デッサンを描く⇒余白や特徴を覚えて理解する □学んだ知識を踏まえ顔の分析ができるようになる ①素肌の状態から4パターンにするにはどうしたらよいかを考える
8	モデル・似合わせメイク② モデルの顔の特徴と正反対のメイクパターン	②相モデルで顔分析しデザインシートにどんなテクニックが必要か考える ③モデルの素肌状態は4パターンの内どれかを分析後、顔の長さ、パーツの位置、パーツの形、色、などこれまで学んだ技術を通じ逆パターンのイメージに仕上げる

9	実技テスト ～FACESTYLE分析メイクテスト～	☐ 今まで4つのパターンより、モデルに合わせた顔の分析し、 デッサンとメイクをしテーマに合わせる
10	成人式メイク	☐ 成人式メイクを知る 振袖に合わせたメイク・肌の作り方・カウンセリング、提案方法を学ぶ
11	成人式メイク	☐ 振袖に合わせたメイクの実践
12	成人式メイク	☐ 成人式メイク
13	筆記、デッサンテスト	
14	実技テスト	13のデッサンを基に実技テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ブライダルプロデュース科		
使用教材				出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考					
担当教員	野中 菜美 安本 尚子			実務経験	
実務内容					